

携帯電話は今や一人一台と言っても過言ではない。携帯電話の普及率である。携帯電話の機能はカメラ機能、インターネット接続、音楽が聞け、テレビも見える。しかし、この便利な携帯電話を使つての「ネットいじめ」が広がっている。

メディアジャーナリストの渡辺真由子さんの講演を聞いた。彼女は、ネットいじめの被害に悩む中高生や、いじめと自殺サイトにより命を絶つた子どもの遺族の取材を続けている。

「二年の男子一同お前のことを気持ち悪いと思つていふ」と差出人不明のメールが届いた中学生。「あなたは殺人犯」とチェーンメールを送られた高校生。いじめから不登校になり、インターネットに没頭し、自殺サイトに手を出し自ら命を絶つた少女。着信のたびに怖いと怯える子どもたちは少なくない。

ネットいじめは相手が見えない。匿名性、非体面性はいじめをエスカレートさせる。書き込まれた内容は、半永久的に保存され、あつという間にネット上を広がる。

このような「ネットいじめ」は、大人の想像をはるかに超えた深刻なものである。なぜ子どもたちは痛ましい事件を引き起こす「ネットいじめ」に走るのだろうか。解決方法はないのだろうか。携帯電話を持たせるな、使わせるな、と規制するのは応急処置であり、根本的な解決にはならない。渡辺さんは加害者ケアが最優先だとおっしゃった。つまり、いじめたい気持ちはどこからきているのかと問うのである。いじめる子は、「認められない、満たされない、居場所が無い」のではないだろうか。問題を起こす子どもたちを考えると納得できる。

では、私たち大人は何をすべきか。子どもたちが何を望んでいるのか耳を傾けよう。自分の居場所（必要とされていること）が実感できるよう、一人一人大切な存在だと伝えよう。それが今、必要ではないだろうか。



ありがとうございました

次の方々からご厚志をいただきました。心からお礼申し上げます。（順不同 敬称略）

■まごころ銀行へ

- ▽森山賢二（三芳）▽世良恒夫（安用）▽曾我勝美（小松町大頭）▽大西ツル子（小松町）
- ▽悠友サロン▽西条市総合文化会館友の会▽ルネサス石鎚会▽国興産業(株)▽竹の子カラオケ会
- ▽小松山草会・小松盆栽教室▽小松陶芸クラブ

■養護老人ホーム明水荘へ

- ▽生け花指導 稲住育子（下島山甲）▽散髪 伊藤泰博（明神木）▽散髪 伊澤郁見（明屋敷）
- ▽新聞 芥川秀人（神拝甲）▽押し花指導 佐藤ミヨ・秋月理作子（大町）、長瀬 皋（中野甲）▽現金 ドレミの会会員一同▽草引き 天理教道前支部

■養護老人ホーム石燧園へ

- ▽縫物奉仕 周桑天理教婦人部

■特別養護老人ホーム道前荘へ

- ▽歌 玉井キヨ子（小松町大頭）▽喫茶・カレンダー作り コープえひめ福祉グループ▽誕生会・歌・踊り いろいろ会▽お花見 花園保育園母親クラブ・周布婦人クラブ

図書が寄贈されました

4月25日に、西条石鎚ライオンズクラブの結成20周年記念事業の一環として、西条図書館に図書が寄贈されることとなり、日野逸司会長から藤田義規副市長に目録が手渡されました。

寄贈された図書は、西条図書館の蔵書として来館者の皆さまにご利用いただきます。



みんなで築こう人権の世紀

—考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心—

6月1日は
人権擁護
委員の日

6月1日は、人権擁護委員法が施行された日です。

西条市の人権擁護委員は私たちの街の相談パートナーとして活動しています。

差別待遇、虐待、いじめ、プライバシーの侵害など、人権問題でお困りの方は、お近くの人権擁護員か松山地方法務局（TEL089-932-0888）までご相談ください。

人権相談は毎月実施しています。相談は無料で、秘密は固く守られます。日程や実施場所については定期無料相談に掲載しています。

6月1日は市内4カ所で行います。

※詳しくは31ページをご覧ください。

西条市の人権擁護委員

- 宮内哲彦（明屋敷）
- 今井 幸（大町）
- 井門喜代美（下島山甲）
- 加藤義範（大町）
- 荒井宏子（洲之内）
- 真鍋祐子（大町）
- 清末昭宏（朔日市）
- 芥川茂子（楠）
- 篠原紀昭（今在家）
- 渡部三枝子（石延）
- 川又由美恵（河原津）
- 秋山節子（丹原町池田）
- 桑村啓子（丹原町寺尾）
- 織田敦子（小松町妙口）
- 日野克彦（小松町新屋敷）